

外国語教育研究所は群馬県における外国語教育の拠点として、外国語教育の充実、地域社会への貢献、グローバル人材育成及び国際交流の促進に寄与することを目的として、様々な事業に取り組んでいます。



高等学校連携英語授業 ～英語授業のお手伝いをします～

◆英語授業支援

今年度は、モデル授業を4校（高崎経済大学附属高校、高崎商業高校、渋川高校、沼田高校）で、個別授業支援を2校（高崎女子高校、中央中等教育学校）で実施しました。

モデル授業では、研究員による文化やアイデンティティ、ステレオタイプをテーマとした講義を聞き、グループでの意見交換や発表を行い、積極的に英語を使ってコミュニケーションをとる様子が見られました。

高崎女子高校の国際理解授業では、生徒は単元のテーマ「異文化理解（相互理解）」についての研究員の講義を聞き、グループで自分の考えを発表しました。中央中等教育学校の“Story Telling Grand Prix”では、指定された条件をもとに作成した物語をグループ発表し、研究員が全グループに指導助言を行ったあと、選ばれた6グループの発表を研究員が審査し、グランプリを決定しました。



高崎経済大学附属高校



高崎商業高校



高崎女子高校



渋川高校



中央中等教育学校



沼田高校



◆英語特別セミナー

2月19日、3月3日の2日間で英語特別セミナー“English Communication Workshop”を実施しました。今回は83名から申し込みがあり、大盛況でした。

研究員による英語授業では、自然に話すための表現や要領を学び、学校を越えたペアやグループでたくさん英語を話しました。また塩澤寛樹外国語教育研究所長（本学学長）の特別講義では、学習・研究・科学・思考力は密接に結びついており、高校生だからこそしっかり学習してほしいと熱いエールが送られました。堀畑佳宏准教授（文学部文化情報学科）と神谷信廣教授（国際コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション課程）の特別講義も行われ、「数学と抽象化」や「数学の仕組み」についての講義を聞いたり、自分の学習スタイルを知り、効果的な英語学習方法を考える演習を行いました。

参加者からは、「初対面の人とも英語で会話することができて楽しかった」「積極的に伝えようとすることで、相手に伝わるのがわかった」「大学で研究をするために高校の学習という基礎が必要になるので、AIに頼るばかりではなく、自分で力をつけることも必要だと思った」「数学は、学校の授業やテストではひとつの答えを求めると制限ばかりだと考えていたけれど、仮定が自由なので自由度が高いと知れて、数学に対する抵抗が減った」「人それぞれ学習スタイルが違っていることがわかり、自分に合った方法で勉強を続けていきたい」といった声が聞かれました。



塩澤研究所長特別講義



堀畑准教授特別講義



神谷教授特別講義

英語授業の様子

2025年度明石塾 活動報告(9月~2月) ~世界を知り、未来を描く明石塾生~



2月21日の成果発表会・修了式をもって明石塾24期生の活動が修了しました。後期は下記のとおり活動を行いました。

日付	曜日	午前研修 (10:00~12:30)	午後研修 (13:30~16:00)
9月6日	土	英語研修⑥ Timothy Witherow主任研究員 Population Decline	・明石先生著書講読 ・海外研修参加希望者説明会
9月20日	土	英語研修⑦ Harry Meyer研究員 Japan's Aging Society and Immigration	塩澤寛樹塾長(本学学長) 講義
10月11日	土	英語研修⑧ Timothy Witherow主任研究員/ Harry Meyer研究員 Globalization and How It Affects Japan	社会人講師授業 甘楽町企画課企画係 森田隆博氏 高崎市立小学校教諭 中里彰吾氏
10月18日	土	東京フィールドワーク(午前:東京ジャーミイ 午後:JICA)	
11月15日	土	英語研修⑨ Harry Meyer研究員 Ethnocentrism	東京フィールドワーク振り返り
11月29日	土	英語研修⑩ Dermot McSweeney研究員 Problems Facing the World in the 21st Century	・ぐんまの民俗芸能 ~神楽~ ・海外研修事前説明会(参加者) JTB
12月13日	土	英語研修⑪ Dermot McSweeney研究員 U.N Mock Debate	地域日本語教育講演会
12月22日~12月27日	月~土	海外研修(マレーシア、シンガポール)	
1月24日	土	英語研修⑫ Milena Kanna研究員 Positive Intelligence	1年間の振り返り
2月7日	土	英語研修⑬ Harry Meyer研究員 Debrief on Malaysia and Singapore	Preparation for the Final Presentation
2月14日	土	Preparation for the Final Presentation 研究員	
2月21日	土	Presentation Practice 研究員	13:00 成果発表会 14:30 修了式

◆ 塾生の感想・気づき・学び ~振り返りから~

【研究員による英語研修】

英語で自分の意見を言うことの抵抗がなくなりました。戦争や資源など難しい問題を話し合ったり模擬国連をしたり、実際に体験するものが多く楽しかったし、とても身になりました。



英語研修



【塾長講義】

科学は理系のことだけではなく、客観的な根拠を基に論理的に説明し検証を行う様々な分野に当てはまるものであることを学びました。日本がなぜ平和なのか、国債は未来どうしていくべきか、人口が減少していく中でどのように生きていくのかというテーマや問題について私たちに考えていってほしいとおっしゃっていて、新たに興味深いテーマを発見することができました。



塩澤塾長講義

【社会人講師授業】

特に印象に残ったのが、「早く行きたいならば一人で行け、遠くに行きたいならば皆で行け」という言葉です。この一言には、国際協力における本質が凝縮されているように感じました。時間がかかっても、相手の文化や考え方を理解し、信頼関係を築きながら「一緒に進む」ことこそが、長期的に持続可能な成果につながるかと実感しました。



社会人講師授業

【東京フィールドワーク・東京ジャーミイ】

イスラム教について話を聞き、宗教はただ祈るだけでなく、日常の中で人を思いやり、平和に生きるための教えでもあると知りました。また、礼拝や断食にも深い意味があり、自分を律し感謝する心を育てるものだと感じました。文化や信仰の違いを理解する大切さにも気づきました。



東京ジャーミイ

【東京フィールドワーク・JICA】

JICA 海外協力隊の方の体験談を聞きました。想像していたよりもはるかに厳しく過酷な環境で、隊員の方々が真剣な表情で取り組む姿に強い感銘を受けました。限られた資源の中で現地の課題に向き合い、解決策を模索する様子から、国際協力の現場がどれほど責任と努力を必要とするかを実感しました。



JICA

【ぐんまの民俗芸能~神楽~】

群馬の神楽を鑑賞し、伝統芸能に対するイメージが大きく変わりました。まゆ作りの継承を題材にした演目では、地域の歴史や生活が物語として力強く語られており、伝統が単なる“昔の文化”ではなく、今も息づくものだと思えました。



海外研修 プトラ大学(マレーシア)

【地域日本語教育講演会】

日本人が、留学生に対して方言ではなく共通語で話すということが実はかえって両者の間に壁を感じさせてしまっているとき、ハッとさせられました。私にも外国の友人がいるのですが、もしかしたら知らないうちに、無意識に排除するようなことをしてしまっていたのかと思いました。



海外研修 アラブストリート(シンガポール)

【マレーシア・シンガポール海外研修】

- ・中国語の単語を少しだけ教えてもらい、一気に中国語に興味を持ち、これから勉強しようと思うようになりました。これまでは英語が堪能であれば世界に行っても大丈夫だと思っていましたが、他国の文化への理解を深め、グローバルな人材として良い関係性を築くためには英語以外の言語の学習も必要不可欠だと今は思います。
- ・事前に明石塾で学んだ SDGs や歴史の知識を、実際の社会や現地の取組と結びつけて考えることができました。特に、Marina Barrage での学びから、持続可能な社会は理念だけでなく、長期的な計画と人々の意識によって支えられていることを実感しました。
- ・何より現地の学生さんと友達になれたことが本当に嬉しかったです。世界はすごく広いけど人と人の心の距離はそれほど遠くないと改めて感じました。

◆成果発表会・修了式(令和8年2月21日)

成果発表会では、塾生一人ひとりが、明石塾の活動を通して得た気づき・学びと将来への展望について英語でプレゼンテーションを行いました。発表前には研究員の指導のもと内容の推敲と練習を繰り返し、家族も参加する前で行ったプレゼンテーションは、これまでの活動の集大成となりました。

その後行われた修了式では、塾長が一人ひとりの名前を読み上げ、修了証を授与しました。塾長は、「思考力の土台となる知識を身につけ、日々の中で、『これでいいのか』『このままだらうなるのか』『今日はいいけれど来年は大丈夫か』『10年後はどうか』と問い続けてください。スマホに答えを聞くのではなく、自分で考えること。それを毎日積み重ねることが、思考力を育てます。これからの日本は、皆さんにかかっています。明石塾での様々な経験をぜひ生かしてほしいと思います。」と式辞を述べました。

塾生代表として、渋川高校の山田雄然さんが「講義や英語研修は刺激的で、自分の世界が大きく広がっていくのを感じました。明石塾は、自分の限界に気づき、それを少しずつ乗り越えていくことの大切さを教えてくれた場所です。挑戦できる環境に身を置けたこと、その中で努力を重ねられたことは、これからの自分の大きな支えになると思います。」と挨拶しました。



成果発表会 英語プレゼンテーション



修了式 塩澤塾長式辞



修了式 修了証授与



修了式 塾生代表挨拶



明石塾24期生

留学支援 ~挑戦することでしか得られない学びがあります~



留学を希望する学生に向け、説明会や危機管理セミナー、個別相談を行い、留学実現を丁寧に支援しています。奨励金が支給される「海外留学支援プログラム」を利用して、今年度は52名が留学・短期研修を実現しました。

令和7年度出発 長期留学 16名

国・地域	大学・研修機関名	留学先数	人数
カナダ	トンプソンリバース大学(8) セルカーク大学(1) セント・ジョージ・インターナショナル・カレッジ(1)	3	10
マレーシア	マラヤ大学(交換留学)	1	1
フィリピン	デラサール大学(交換留学)	1	1
韓国	高麗大学校(交換留学)	1	2
アイルランド	ダブリンシティ大学	1	1
オーストラリア	ウェスタンシドニー大学	1	1
計		8	16

令和7年度出発 夏季・春季短期研修 36名

国	大学・研修機関名	留学先数	人数
カナダ	ハートランドインターナショナルイングリッシュスクール(10) プリティッシュコロンビア大学 (ASPIRE INTENSIVE)(1) グローバルビレッジイングリッシュセンター(1)	3	12
オーストラリア	シドニーの日系・豪州系企業インターン(5) グリフィス大学(3) Future English語学学校(1)	3	9
ニュージーランド	ワイカト大学(3)	1	3
アメリカ合衆国	インディアナ大学インディアナポリス校(4) サンフランシスコのフードバンク・教会(低所得者生活サポートボランティア)(1)	2	5
ブルガリア	アゴラソフィア (日本語授業支援ボランティア) (3)	1	3
フィリピン	タランバンの公立小学校 (副担任ボランティア) (2)	1	2
インドネシア	バリ島ウブドの小中学校 (英語授業支援ボランティア) (1)	1	1
ベトナム	ホーチミンの日本語語学学校 (日本語教師アシスタントインターンシップ) (1)	1	1
計		13	36

◆群馬県親善学生大使委嘱状交付式(令和8年1月13日)

令和7年度春季短期海外研修、令和8年度前期出発長期留学に参加する学生25名が親善学生大使を委嘱されました。塩澤寛樹学長からは、「群馬県立女子大学の代表として、留学先で積極的にいろいろなことにチャレンジしてください。情勢を自分で確認し、時には引く勇気をもつことも忘れないでください。成果を持って笑顔で無事に帰ってきてください。」と激励の言葉が贈られました。

また、安達明事務局長と野口和彦国際交流委員長はそれぞれ、「大使活動を通して群馬の良さを改めて感じてください。新たな環境での挑戦を楽しみ、今後の自身の成長のきっかけとなるものを掴んでください。」「健康と安全に気をつけて、留学の機会を活用し、自分自身を向上させてください。」とエールを送りました。

2月から韓国の高麗大学校へ交換留学する学生が、「群馬県の親善大使として、日々の交流を通して、群馬県の素晴らしい自然や文化の魅力を意識的に伝え、より多くの人に群馬県について知ってもらえるよう、取り組んでまいります。」と決意を表明しました。



English Help Desk ~英語の悩み、個別にサポートします~



English Help Deskでは、学生からの申し込み内容に応じて、研究所が一丸となって支援を行っています。今年度も英会話個別練習、発音指導、留学相談、検定試験のライティング添削で、417名の学生の支援を行いました。



グローバルカフェ ~県民の皆様の熱い思いに支えられています~



全3期、計21回開催しました。153名の一般県民の方々・学生が参加し、研究員(全員ネイティブスピーカー)との英会話や交流を楽しみました。

参加者の声

S.Gさん(高校生)・・・グローバルカフェでは、色々な人と話すことで新しい発見や将来のアドバイスをたくさんもらえました。わからない表現も研究員さんが優しく教えてくれるので、安心して話すことができます。英語が好きな方々とお話しできる時間がとても楽しいです!そのおかげで、今では失敗を怖がらず、自分から積極的に話せるようになりました。これからも楽しみながら続けていきたいです!

H.Uさん・・・人類の祖先であるピテカントロプスが生き延び、知能・肉体的に勝っていたネアンデルタール人が滅びた原因は近年のDNA解析によりコミュニケーション能力の差と判明したそうで、やはり社会的動物である人間には意思疎通が必要不可欠なようです。グローバルカフェでは年齢・性別・職業・国籍までも異なる人々と会話する機会が得られるので語学力に加えてコミュニケーション能力も養えます。そのような貴重な場を設け支えて下さる研究員や職員の方々には感謝するばかりです。

明石杯高校生英語コンテスト ~努力の成果を発揮しました~



11月14日(金)、本学を会場に「明石杯高校生英語コンテスト」(群馬県高等学校英語部会、群馬県教育委員会との共催)が開催されました。支部予選には134名が参加し、77名が本選に出場しました。プレゼンテーションの部のテーマは、“How can schools in Japan encourage diversity (for a better future)?”でした。高校生の皆さんが積み重ねてきた努力と、全力で挑む真剣な姿が感じられるコンテストでした。

2025年明石杯高校生英語コンテスト 結果

部門 順位	プレゼンテーション	レシテーション	スピーチ第1部	スピーチ第2部 (海外滞在経験者等)
1位	家坂 絹穂 (高崎女子 2年)	田口 柚花 (館林女子 1年)	川原 麻椰 (市立太田 2年)	小野里 美結 (四ツ葉学園 5年)
2位	伊澤 深月 (ぐんま国際アカデミー高等部 1年)	田中 花 (共愛学園 1年)	中島 美咲 (中央中等 5年)	相澤 広大 (桐生第一 1年)
3位	橋本 恵凜 (共愛学園 2年)	新井 凜 (高崎経済大学附属 1年)	横塚 稟 (前橋東 2年)	アハメド ショーラブ (伊勢崎商業 1年)
4位	丸山 諒仁 (市立太田 1年)	歌野 はいさ (新田暁 2年)	高橋 明莉 (新島学園 2年)	
5位	滝本 彩介 (共愛学園 2年)	中西 翔太 (桐生第一 1年)	金成 美来 (共愛学園 2年)	
6位		加藤 朋由 (渋川 1年)	ミヤジ アブ ズバエル (桐生清桜 1年)	
特別賞	野崎 莉瑚 (新島学園 1年)	後藤 彩慧 (新島学園 2年)	川合 優海 (利根実業 3年)	柳澤 怜央 (前橋 1年)

